



国産広葉樹の現在地

～流通のボトルネックと、未開拓市場のポテンシャル～

株式会社森未来 井口 光

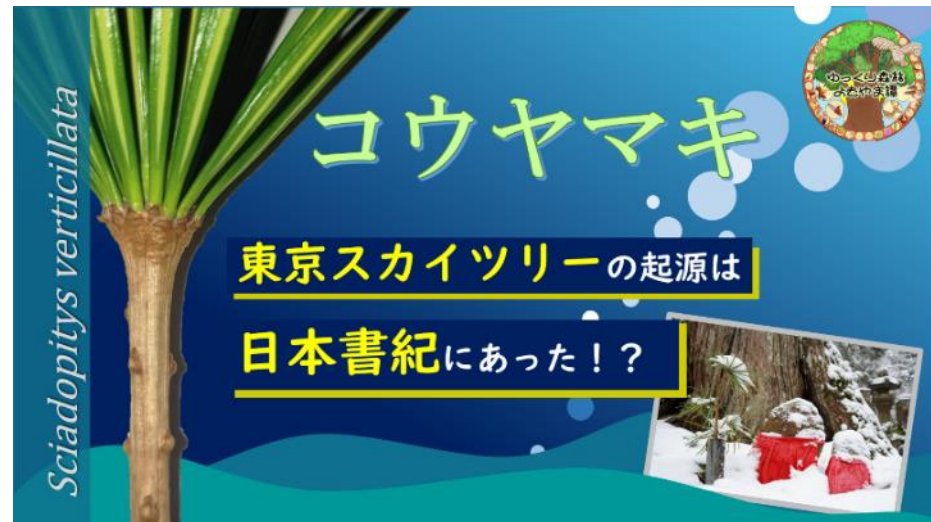


自己紹介

2

井口光（いぐち ひかる）

- 1997年 東京都調布市生まれ
- 2020年 北海道で造林学の研究
- 2023年 和歌山で群集生態学の研究
- 2024年 （株）森未来でデータベース開発を開始
- 2025年 木材特化型AIの開発を開始
- 2026年 森未来AI Adviserリリース予定



世界初？
クマノザクラの製材記念
（三重県武田製材さんにて）



河村寿昌, 西川栄明 著ほか（2025）

<https://x.gd/FdnRZ>



株式会社森未来

MISSION

Sustainable Forest

私たちは、持続可能な森林をつくり、
次の世代へ繋いでいきます

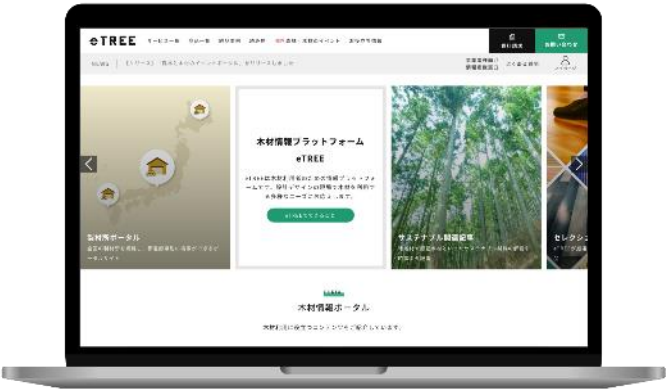
VISION

All Wood Platform

森林・林業・木材のあらゆる情報を
テクノロジーの力で集約し
未来を変革する木材流通をつくります



木材情報プラットフォーム eTREE



The background of the slide is a close-up photograph of vertical wooden planks. The wood has a natural grain pattern and a warm, brownish-tan color. A semi-transparent white rectangular box is centered on the slide, containing the title text in a bold, black, sans-serif font.

国産広葉樹 アンケート調査の概要



アンケート設問の概要

5

【アンケートの構成】

①広葉樹の利活用に関する現状とニーズに関する質問

- 広葉樹製品の生産・流通事業者

- ①取扱い樹種 & 今後の期待樹種
- ②取り扱い拡大に向けた課題

- デザイナー・設計士

- ①素材の選定基準
- ②木材の評価
- ③木材利用拡大に必要な支援策

- 一般企業・団体

- ①オフィス等での利用ニーズ
- ②広葉樹・針葉樹の認知度

②里山広葉樹林の現状の認知度に関する質問

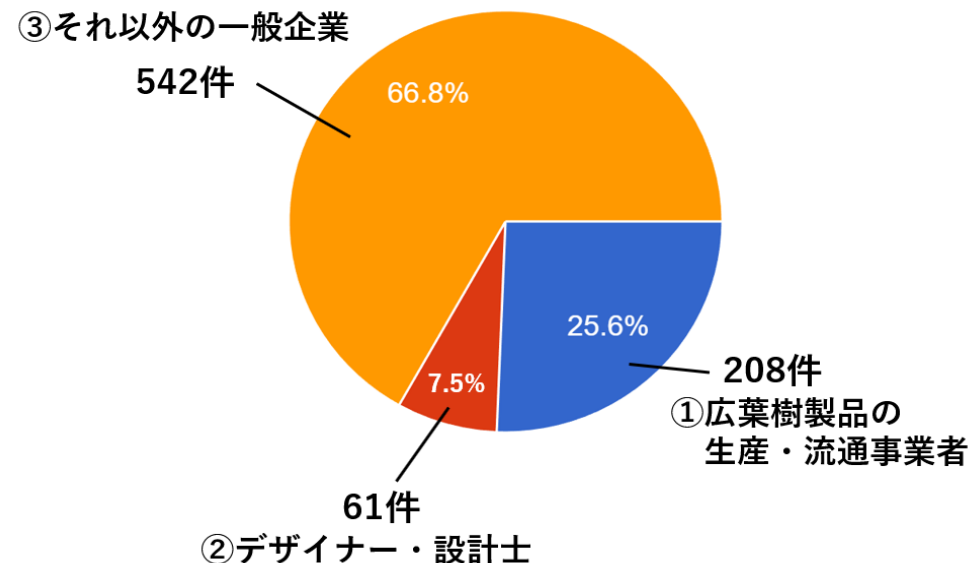
- 里山広葉樹林で発生している課題の認知度
- 伐採・利用による課題解決への貢献意欲

【回答期間】

2025年12月11日～2026年1月31日

【回答者の概要】

回答総数**811**件

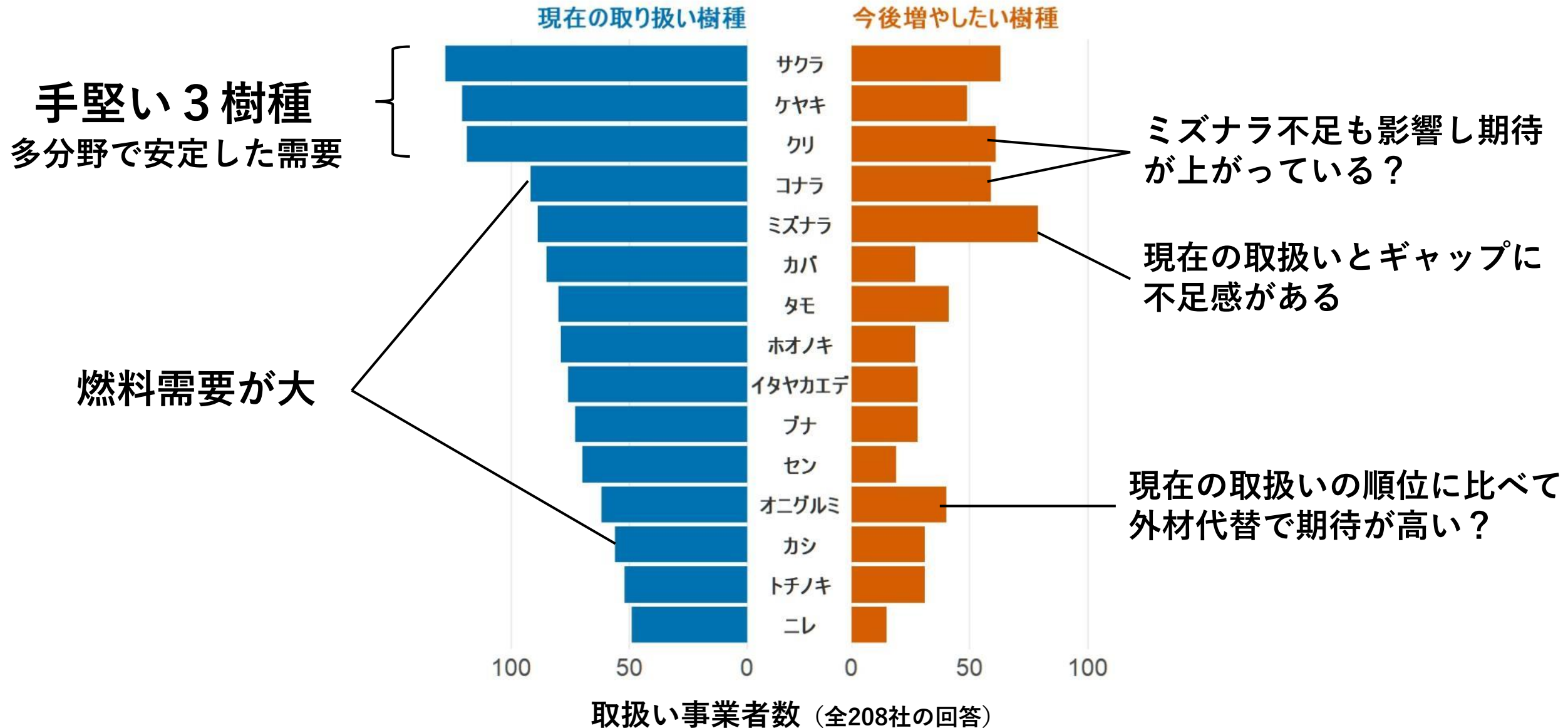


木材事業者の現在と課題



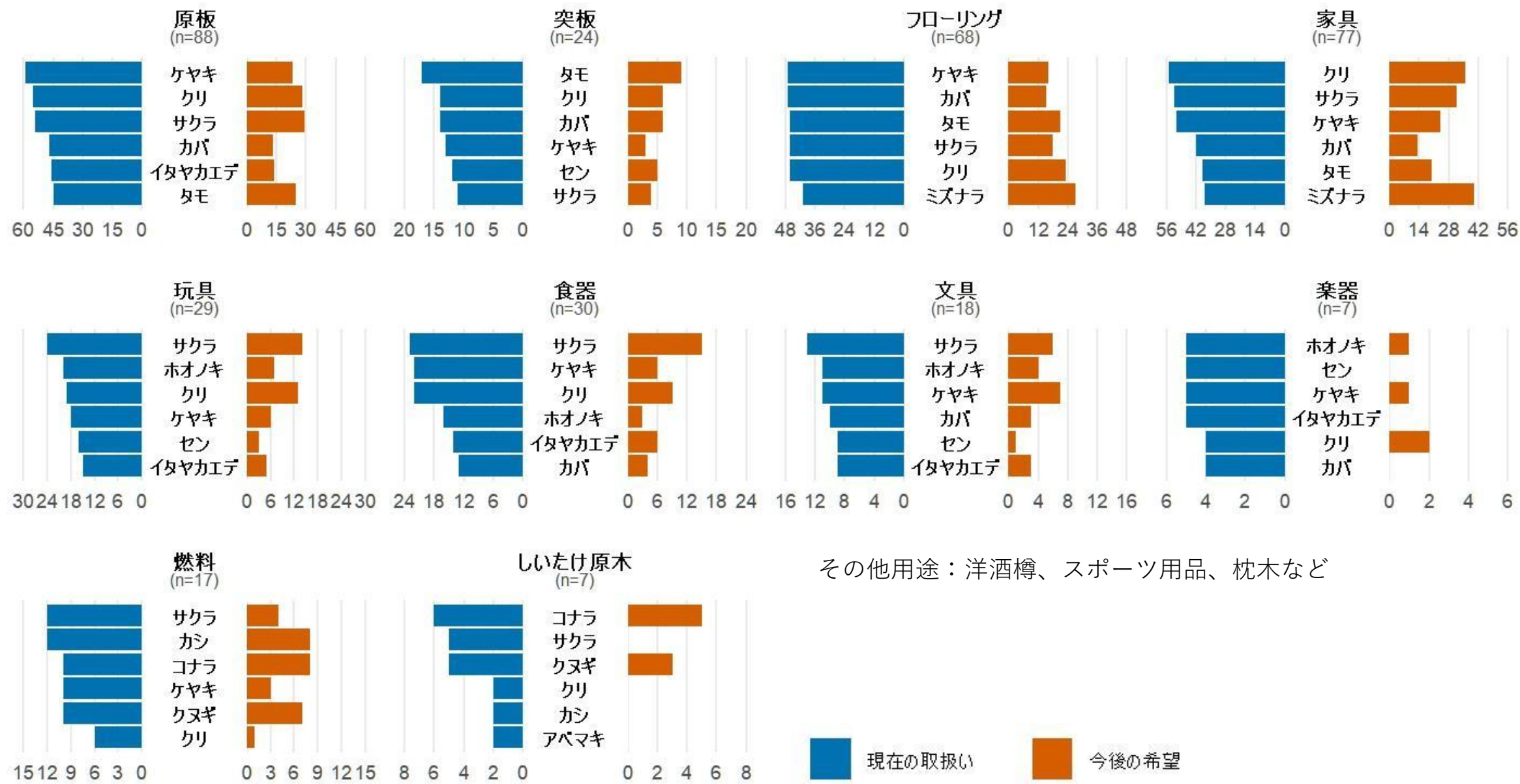
樹種別 取扱い事業者数TOP15

7





製造品目別の取扱い樹種





Q. 国産広葉樹の取扱いを増やすうえでの課題は？

全事業者で課題

要望通りの素材が調達できない

素材の供給情報が不足

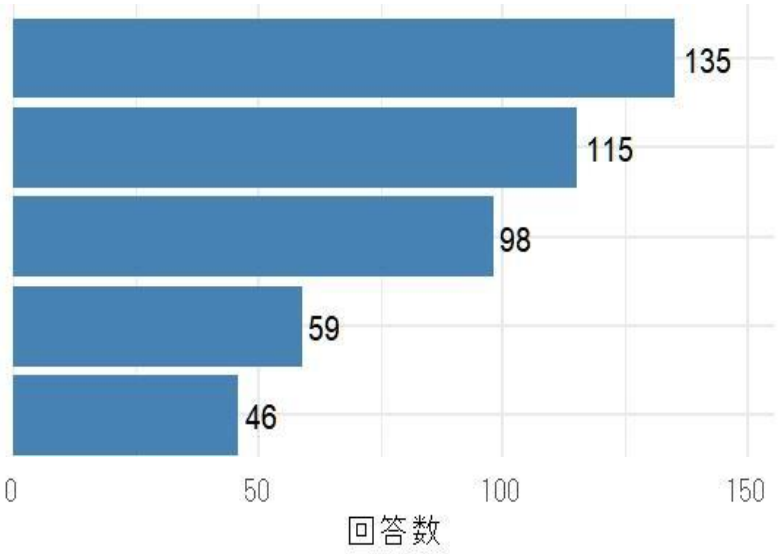
価格・コストが合わない

内装/什器分野に特徴的

顧客からのニーズがない

品質管理, クレームリスク

回答数 (n > 30を抜粋)



	アンケート結果	考察
情報の断絶	要望通りの素材が調達できず、供給情報の不足が顕著。	生産者⇄消費者のみならず、「生産者同士」でも情報が断絶している。
市場の未成熟	内装/什器分野において「顧客からのニーズがない」との回答。	最終消費者が国産広葉樹を認識していない or ニーズにマッチしていない/届いていない
技術的課題	クレームリスクへの懸念。乾燥によるタイムラグの指摘も。	加工・乾燥の特殊性が障壁に。技術開発やノウハウの共有が、広葉樹製品の信頼確保に必須。

設計士・デザイナー の木材の評価と課題

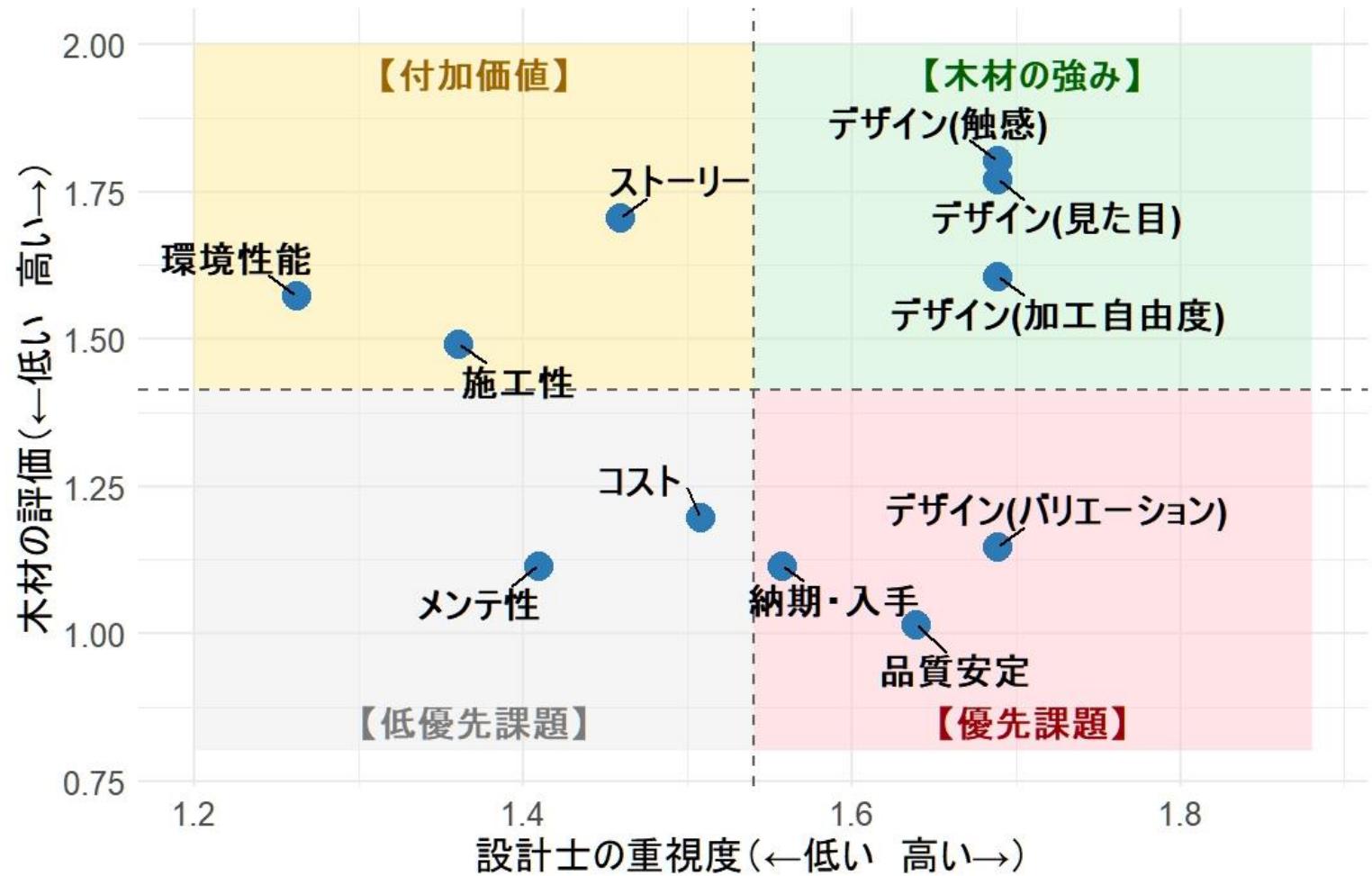
※敢えて広葉樹ではなく木材としての課題を聞いています



設計士/デザイナーの木材の評価

素材選びにおける木材の評価分析

中心線: 重要度平均 1.54 / 評価平均 1.41



設計士・デザイナーが素材選びで重視していること

エリア	考察
木材の強み	五感に訴える意匠性は木材の素材としての強み。
優先課題	供給の不安定さや品質のバラつきがボトルネック。バリエーションで広葉樹の存在感を示せるか？
付加価値	差別化の鍵だが、品質と安定供給あってこそ。
低優先課題	弱点として認知されているが、優先度は低い課題。

【平均値の求め方】

素材選びの重視度

木材の評価

・「重視する」＝2点

・「良い」＝2点

・「ある程度気にする」＝1点

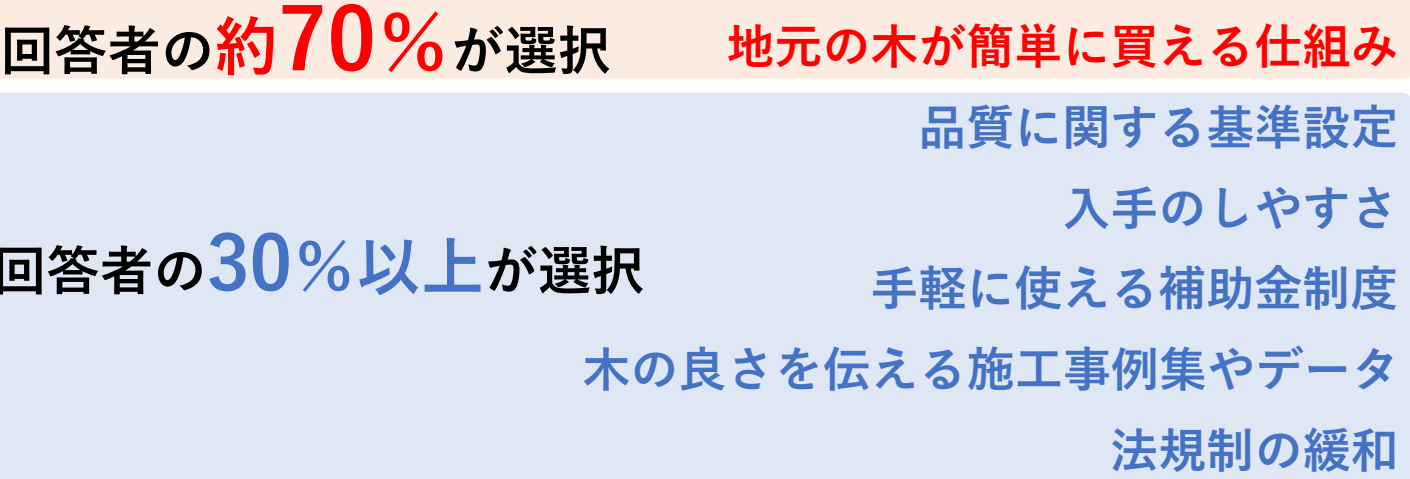
・「ふつう」＝1点

・「重要でない」＝0点

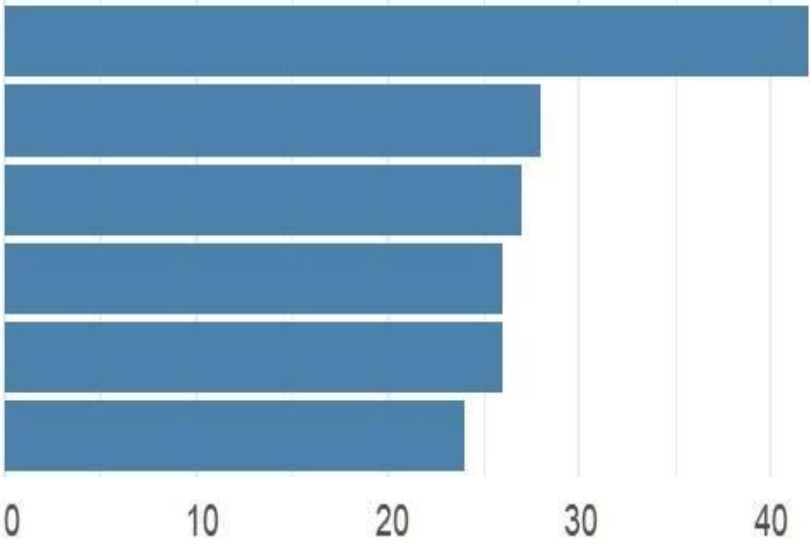
・「悪い」＝0点



Q. 木材利用を拡大するには何が必要？



回答数（n > 20を抜粋）



	アンケート結果	考察
圧倒的な 地域産材ニーズ	回答者の約70%が「地元の木が簡単に買える仕組み」を選択。	地域材利用の意欲は高い が、購入しにくい現状が伺える。 地域材認証制度も針葉樹中心？
品質と調達コスト	30%以上が品質基準、入手性、補助金、事例データを選択。	プロが安心して使える 客観的品質基準 と 事例の可視化 が求められている。
環境整備	法規制の緩和を求める声も一定あり	具体的な内容は分からないが、 内装制限 は広葉樹利用の障壁になっている。

一般企業/団体の認識



広葉樹は木材として認識されているのか？

14

質問①：知っている木の種類（樹種）を教えてください
（可能であれば5種類以上）。

回答例：スギ、マツ、サクラ、カエデ、イチョウ

認識している樹木の中に
広葉樹は含まれているか？

質問②：上記で回答した設問のうち、木材として使える木
はどれですか？

回答例：スギ、サクラ

広葉樹は木材として
認識されているのか？
樹木と木材は結びついているのか？

質問③：広葉樹と針葉樹の違いを説明できますか？
（5段階自己評価）

回答例：最低限はできる

そもそも針葉樹と広葉樹の
違いを認識しているか？

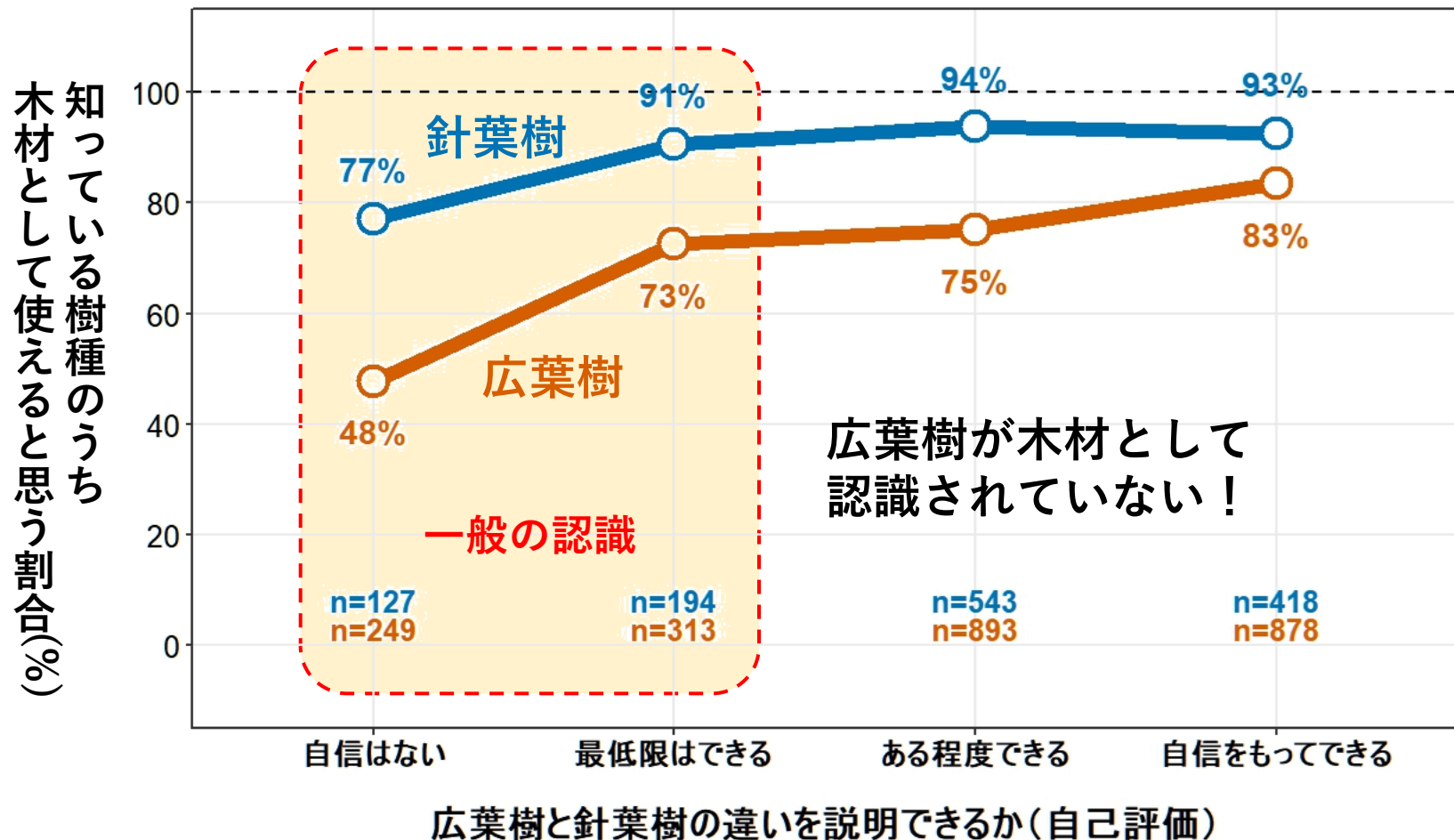


そもそも広葉樹って使えるの？！

15

樹木の理解度と木材としての認識率の関係

※nは各グループの回答者が挙げた樹種の総数



一般の方



木に詳しい人

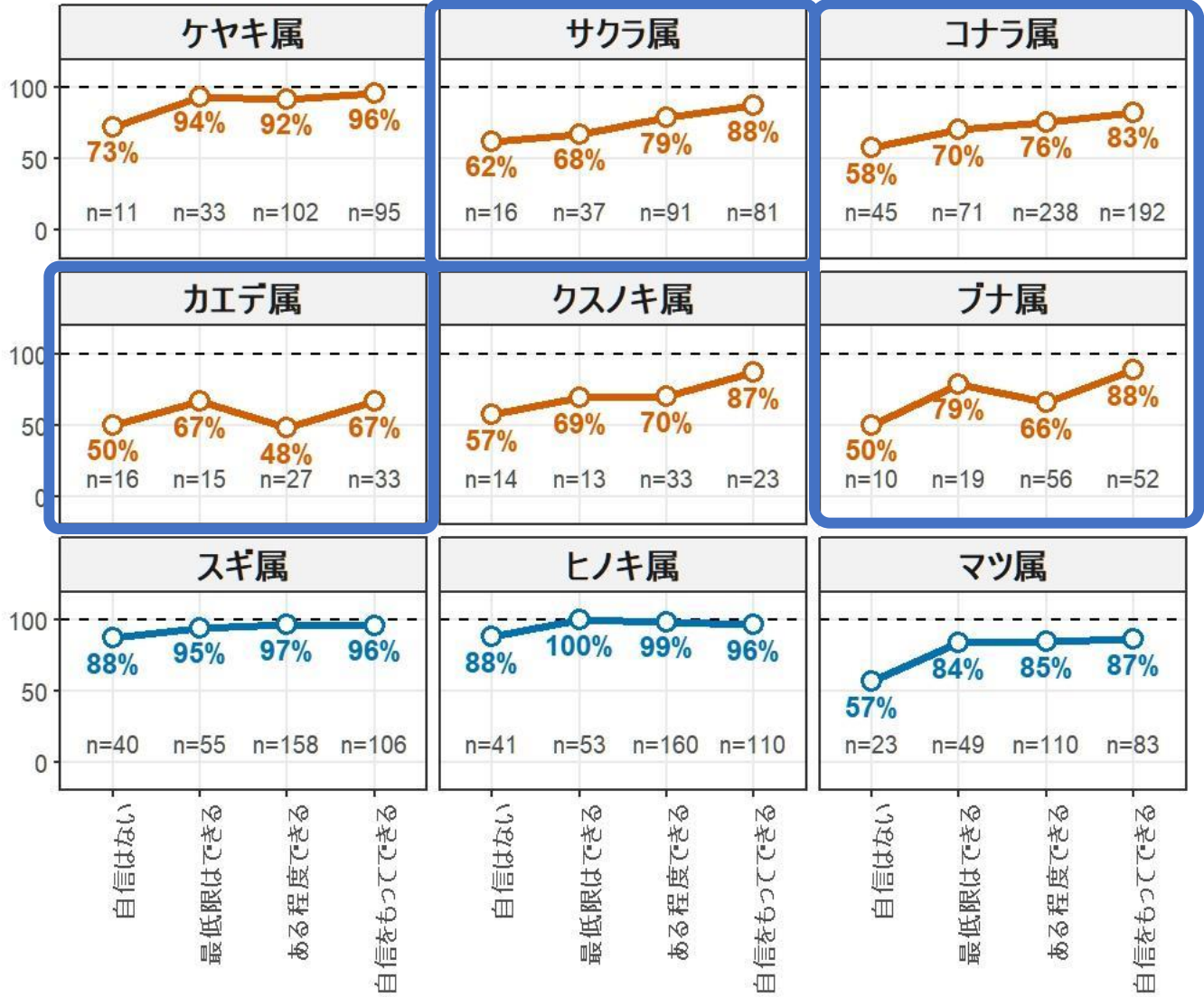


“樹木”と“木材”の乖離

分類 ○ 広葉樹 ○ 針葉樹

※nは回答樹種数。

木材としての認識率(%)



広葉樹と針葉樹の違いを説明できるか(自己評価)

里山で日常的に利用されてきた
コナラ属 (58%) やブナ属 (50%)
⇒資源としての認識が衰退

お花見や紅葉狩りで親しまれている
サクラ属 (62%)、カエデ属 (50%)
⇒“樹木”と“木材”の認識が乖離



≠



知らなければ需要も湧かない

里山生態系の課題と 広葉樹利用をつなげるには？



広葉樹利活用の意欲を高めるには？

18

Q. 4つの里山の課題を
認識していますか？

- ①生物多様性の損失
- ②獣害の増加
- ③ナラ枯れ拡大
- ④竹林拡大

里山の
課題認識

4つの課題の認知

広葉樹利用の
保全効果の認識

Q. 国産広葉樹の利用が
里山の課題解決に
つながることを
認識していますか？

Q. 針葉樹と広葉樹の違いを
説明できますか？

樹木リテラシー
針・広葉樹の
識別能力

広葉樹利活用
への意欲

Q. 国産広葉樹の利活用に
貢献をしたいですか？



広葉樹利活用の意欲を高めるには？

19

Q. 4つの里山の課題を
認識していますか？

- ①生物多様性の損失
- ②獣害の増加
- ③ナラ枯れ拡大
- ④竹林拡大

どの要因がどんなプロセスで
「広葉樹利用への意欲」に結びつくかを解析

里山の
課題認識
4つの課題の認知

樹木リテラシー
針・広葉樹の
識別能力

広葉樹利用の
保全効果の認識

Q. 国産広葉樹の利活用に
貢献をしたいですか？

広葉樹利活用
への意欲

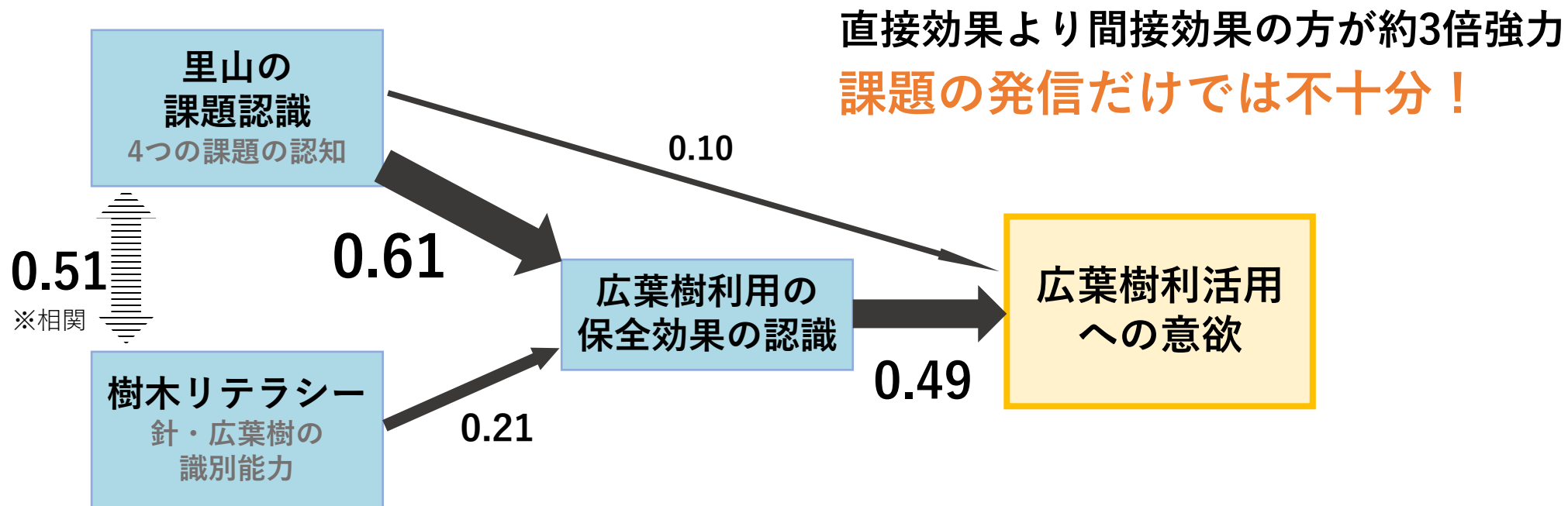
Q. 国産広葉樹の利用が
里山の課題解決に
つながることを
認識していますか？

Q. 針葉樹と広葉樹の違いを
説明できますか？



広葉樹利活用の意欲を高めるには？

20



※数字は影響力のスコア（標準化係数）
大きいほどそのルートの影響力が大きい。
SEM解析はR ver.4.5.0 lavaanパッケージを利用

3つの施策を
回すことが重要！

- ①里山の課題を発信する
- ②理解を下支えする樹木リテラシーを持つ
- ③広葉樹利用の保全効果を理解する

利用に対する
納得感



認知の分断をつないで納得できる利用へ

21



“木”と“材”



木の名前と材をつなぐ

- 木育/地域材に広葉樹の選択肢を！
- 新しい木材文化との連携（後述）



“材”と“林”



木材と里山林をつなぐ

- 利用を隔てない環境教育/研修
- 文化と環境の連続性の再認識



“林”と“森”



資源と生態系をつなぐ

- 更新/管理技術の限界の理解
- 多面的機能の視点の獲得

**未利用材の活用で終わらせず
「森林の持つ公益的・生態学的機能」との調和のもとで納得することが重要**

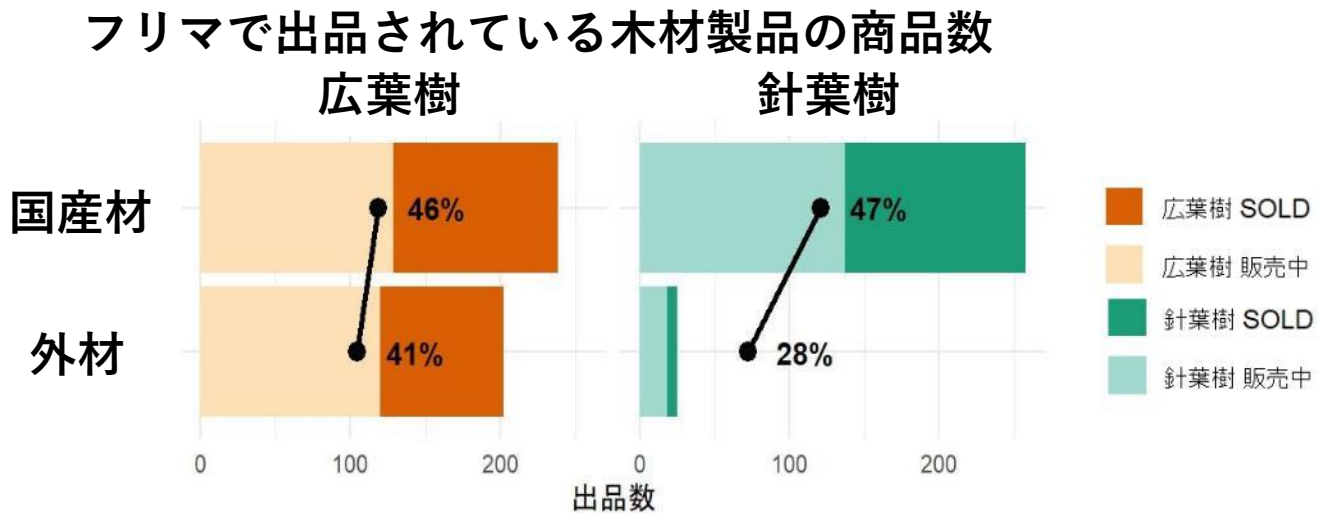
The background of the image consists of vertical wooden planks in various shades of brown and tan, showing natural wood grain patterns. A semi-transparent white rectangular box is centered horizontally and vertically, containing the title text.

広葉樹の入り口の作り方

～新しい雑木文化～

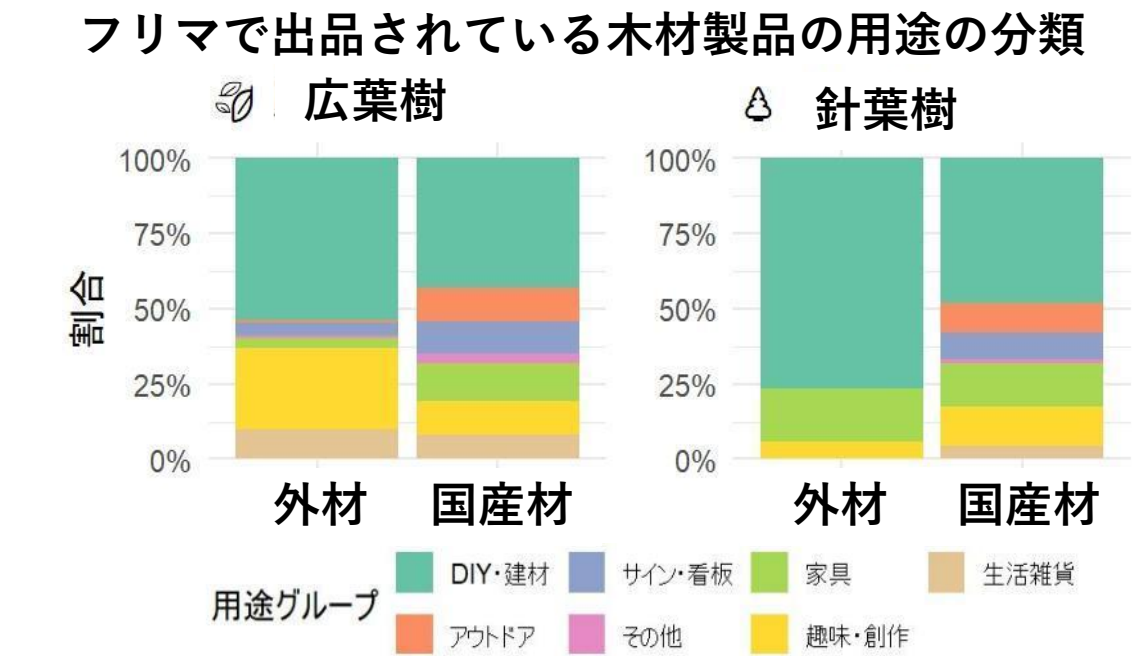


フリマに見る広葉樹の可能性



フリマ上で取引される広葉樹は
国産材が約**1.2倍多い**

外材に比べ国産材は
多様な用途で販売されている



最終消費者の**広葉樹トレンド**が
分かる貴重なメディア

※井口調べ2025年6月時点。「木材」で検索しヒットした1000商品からランダムサンプリング。商品名や説明文から用途を抽出。

ご清聴ありがとうございました！

【画像・素材提供のご協力】

武田製材有限会社

刈MOKU

北海道大学